

平成 23 年度 事業報告書

学校法人 白百合学園
白百合女子大学

I. 大学の概要

白百合女子大学の概要

学校法人白百合学園は、明治 11 年（1878 年）に来日した 3 人のフランス人修道女が函館に修道院を創設したことに始まります。その後、明治 14 年（1881 年）東京・神田猿樂町に学校を設立し、以来 1 世紀以上に亘り、シャルトル聖パウロ修道女会の運営により学校教育を行っています。

白百合女子大学（以下本学という。）の前身である白百合短期大学は、昭和 25 年（1950 年）に設置され、昭和 40 年（1965 年）には四年制大学に移行して、東京・調布の地にキャンパスを構えました。

本学は、キリスト教のカトリシズムの伝統による人格形成を基本理念とし、知性と感性との調和のとれた女性の育成を目指しています。そのため、四年制大学移行後も、カトリック精神にもとづく少人数教育の実践を基礎として、カリキュラムや教育施設を拡充してきました。

現在、学部は、国語国文学科、フランス語フランス文学科、英語英文学科、児童文化学科（児童文学・文化専攻、発達心理学専攻）を有し、高いレベルの教育が実施されています。また、学生の探究心や向上心を刺激する多彩なプログラムも用意されており、それぞれの夢の実現や自己のさらなる可能性を広げる機会を積極的に提供しています。留学制度は、特にフランス語フランス文学科と英語英文学科の学生に利用され、毎年多数の短期語学研修・長期留学者が海外で知見を深めつつ、その語学力に磨きをかけています。さらに、幼稚園・小学校・中学校・高等学校のそれぞれの教員免許取得を目指す教職課程を整備し、保育士・司書・司書教諭といった資格取得プログラムも展開されています。

平成 2 年（1990 年）には、学部における学術研究を基礎に、さらに深い学識と高い研究能力を養い、文化の向上と社会の福祉に寄与することを目的として、大学院も設置されました。現在では、学部の専門教育と密接に連携する修士課程 5 専攻・博士課程 3 専攻が整い、実践的な分野で活躍しうる高度の知見を備えた専門家を社会に輩出しています。

今後は、卒業生に対する高い社会的評価を支えに、変化する社会と時代の要請に応えるため、キャリア支援にも力を注ぎ、それぞれの個性を生かした能力を発揮できる女性を、社会に送り出していきたいと考えています。

II. 事業の概要

【学部における教学改革の推進状況】

本学の教育理念・目的・目標の達成に資する学士課程における教育効果の高いプログラムを支援して、本学の教育の活性化に資することを目的とする「教育プログラム推進助成制度」を試行させ、以下の通り4つのプログラムを採択した。

- 1、個別化フランス語教育総合プログラム
- 2、小学校英語活動プログラム導入と連動した啓蒙活動による現役教員のリカレント教育と地域貢献
- 3、英語自主学習の活性化と就業基礎力としてのTOEICの学習の効率化による4年間一貫英語教育プログラムの確立と高大連携への応用
- 4、総合的視座涵養を目指す学内キャンパスをフィールドとした環境教育プログラム

「文学部における国際的就業力育成支援事業」を平成22年度に引続き推進。今年度はグローバルビジネスプログラムの学生対象説明会の開催、海外ビジネス実践研修（イギリス）・海外企業実地研修（アメリカ）の実施、グローバルビジネスプログラム支援センターの開設等の取り組みを実施。

《海外ビジネス実践研修》イギリスでビジネス英語を学びながら、イギリスの企業の実態を知るための研修。2012年2月11日～3月5日にかけて実際にイギリスのチェルトナムにある銀行やNPO団体などを訪問して体験的に学んだ。参加者は20名。

《海外企業実地研修》アメリカでの3日間の就業準備研修と2週間の企業での実地研修からなるプログラム。2012年2月29日～3月19日にかけて7名が現地の企業で、担当者の指導のもと就業経験を積んだ。

【大学院における教学改革の推進状況】

大学院各専攻の教育目標を新設。大学院ではこれまで研究科ごとに教育目標を定めていたが専攻ごとに教育目標を定めた。また、半期単位認定制度を導入。これにより海外留学希望者等の単位取得に配慮できる形となった。

■ 学生生活・キャリア支援状況

「学生生活満足度調査」を実施し、学生の教育施設・サービスへの要望把握を行うとともに、キャリア開発に関する意識の調査を行い、今後の大学の諸施策の立案のためのデータを収集した。

「e-システム（電子ポートフォリオ）を活用したキャリア力の養成」を平成21・22年度に引続き推進。今年度はe-システム利用のためのID発行対象者の拡大による利用促進、キャリアカウンセラーによる相談体制の強化、「キャリアセミナー」・「キャリア支援講座」の開催による学生のキャリア発達に向けての自発的行動機会の設定等の取り組みを実施。

■国際交流支援状況

系列校の仙台白百合女子大学主催フィリピンボランティア研修に参加。このボランティア研修では、フィリピン・セントポール大学マニラ校を拠点にボランティア活動を実施。2月19日（日）～3月2日（金）13日間に渡り研修が行われた。本学参加者は6名。

■地域貢献

平成23年11月～12月、調布市せんがわ劇場との地域連携講演（教室から舞台へ地域社会へ広がる教育成果）を実施。「児童演劇入門」履修学生が主体となり『悪魔のりんご』（日本絵本賞受賞）の演劇公演を行う。

■図書館による教育支援企画

昨年度に引続き、図書館では単なる資料の利用スペースとしてではなく、学生に様々な形で教育支援を行うことを目的とした「リエゾン企画講演会」が実施された。今年度は「江戸の遊びと出版文化」「お話の世界」「ひろがる世界 人形劇から人形演劇へ」など計5回に渡り多彩なテーマの講演会が行われた。

■FD・SD事業

FD推進委員会を主体としてFD活動を継続実施。「授業改善のための学生アンケート」の実施と報告書の作成を行い、これを大学Webサイト上および図書館・学科研究室において閲覧可能とすることで、在学生だけでなく、広く社会にFD推進のための取り組みについて情報公表を行った。

大学職員の職能開発を目的として「スタッフ・スタディ・ミーティング（SSM）」を半期実施（全10回）の取組としてスタートさせ、必要な専門知識や高等教育全般の動向の理解促進を図った。また「学内出向研修制度」を新設し、通常業務とは異なる環境で、一定期間新たな業務を担当する事で、客観的視点から自身の通常業務を見つめ直し、幅広い関連知識やスキルの習得、人脈形成を促進する取組みをスタートさせた。

【経営管理並びに施設・設備等に関する主な事業の状況】

- ・1号館トイレ改修工事の実施。和式を洋式化するだけでなく、ウォシュレットや擬音装置、自動水洗、節水型トイレを導入し、ブース内にはスーツなどに容易に着替えられる専用ボードも装着。入口のドアレス化、照明の自動センサー式への変更の他、パウダールームには全身鏡を設置し、また、バリアフリー用トイレを4フロアに備え付けるなど、使用者の利便性に配慮した全面的な改修を行った。
- ・本館の空調はセントラル方式であり、その熱源にはボイラー吸収式冷暖房機が採用されている。設置から17年が経過し経年劣化による設備更新として、吸収式冷暖房機の操作盤の交換を行った。

- ・省エネ法に基づき、学内エネルギー使用の合理化を図るべく「エネルギー管理標準」を 22 年度に策定。23 年度は、東日本大震災の影響から省エネ意識が高まったこともあり、エネルギー削減目標値を前年度比 1%減と設定していたが、省エネパトロール・節電の徹底・本館空調設備にインバーター設備を導入など、改善を推し進めた結果、18%減と大幅なエネルギー削減となった。
- ・学内共有端末用のプリンタ 22 台分の入替えをおこなった。プリンタは教室と廊下の機種を統一する事で消耗品の共通化が図られた。なおプリンタ機種は全てカラープリンタへ変更となった。
- ・各事務部署内で業務に利用する共有ファイルの保存先として、ファイルサーバの新設を行った。新設によりサーバの一元管理をすることができるようになった。また本体とバックアップのサーバを物理的に離れた場所に設置する事により、災害時でもデータの損失を可能な限り低くできる事がメリットに挙げられる。
- ・学内の無線 LAN 環境の整備を行った。今年度は、ステラマリス、フォンスビートル 11 号館カフェテリア・クララホールが対象となった。学内 LAN と切り離して整備することでセキュリティー面の配慮がされている。
- ・グローバルビジネスプログラム支援センターでは英語力のブラッシュアップツールとして英語学習用の e-ラーニングシステムが構築されている。このシステムは学内のインターネットに接続されたパソコンに利用が限定されていたが、今年より学生は自宅などどこからでも利用することが可能なようシステムの改善が図られた。e-ラーニングシステム総合的な英語の学習から資格試験の TOEIC 対策、語彙力や英作文作成力の養成まで幅広い学習が可能となっている。
- ・大規模災害発生時に学生に対して必要な支援体制や連絡体制を迅速に整えるため、安否確認システムを導入した。このシステムでは震度 5 以上の地震で自動的に安否確認メールが学生に送信され、学生から回答により安否情報を大学が把握できる。また台風接近時の授業開講状況についてもメール発信により情報提供を行う。

Ⅲ. 財務の概要

1. 決算の概要

平成 23 年度決算の消費収支における帰属収支差額は支出超過額 124 百万円と、前年度に比べ 407 百万円の減少、消費収支差額では 159 百万円の支出超過となり、前年度に比べ 115 百万円の支出増となった。期中の施設整備事業では、年度計画の中核となる 1 号館トイレ改修工事を施工、これらを含めた基本金組入額は 35 百万円と、1 号館・図書館の耐震補強工事による単年度の組入額が増加した前年度に比べ、293 百万円の減少となった。資金収支では、資産運用支出として 643 百万円を計上、400 百万円を施設設備の更新の備えとして減価償却引当特定資産に資金留保し、1,966 百万円を次年度への繰越支払資金とした。

運用財産の状況では、総資産額は 23,552 百万円で前年度に比べ 70 百万円の減少、負債の部は、前年より 54 百万円増加し 2,628 百万円となった。

基本金の部は、新規の設備投資に充てた 35 百万円の第 1 号基本金への組入れにより 21,232 百万円となった。消費収支差額の部は、前年度の繰越消費支出超過額が 148 百万円、本年度の支出超過額が 159 百万円、308 百万円を翌年度繰越消費支出超過として計上した。基本金と消費収支差額の合計額は 20,923 百万円で、総資産に占める割合（自己資金構成比率）は 88.8%となった。

（ここに掲載する財務状況は白百合女子大学単体の財務状況であり、本学を含めた法人全体の財務状況につきましては学校法人白百合学園のホームページ

『<http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/index.html>』をご覧ください)

資金収支計算書

平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで

(単位 円)

収入の部				
科目	予算	決算	差異	備考
学生生徒等納付金収入	2,500,515,900	2,501,145,900	△ 630,000	入学金、授業料などの納付金収入。 ※1
手数料収入	68,000,000	67,812,370	187,630	入学検定料、証明手数料、試験料収入など ※2
寄付金収入	23,000,000	23,048,731	△ 48,731	教育環境整備寄付金、卒業生寄付金など
補助金収入	251,434,000	251,434,000	0	
国庫補助金収入	251,434,000	251,434,000	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
その他補助金収入	1,000,000	1,000,000	0	学術研究振興資金の交付金
資産運用収入	168,000,000	169,528,135	△ 1,528,135	公社債配当金、預金利息、施設使用料収入など
資産売却収入	40,000,000	40,000,000	0	有価証券売却による収入
事業収入	85,100,000	83,569,139	1,530,861	主に学生寮の寮費収入
雑収入	113,300,000	113,235,808	64,192	主に退職金財団交付金収入
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,761,700,000	1,659,238,500	102,461,500	新入生、在学生に係る翌年度分の授業料など
その他の収入	177,429,000	175,923,876	1,505,124	前期末未収入金、預り金など
資金収入調整勘定	△ 1,787,223,500	△ 1,786,310,400	△ 913,100	前期末前受金や当年度末未収入金などの調整勘定
前年度繰越支払資金	2,011,728,111	2,011,728,111		前年度から繰越された現金預金
収入の部合計	5,412,983,511	5,310,354,170	102,629,341	

支出の部				
科目	予算	決算	差異	備考
人件費支出	1,891,200,000	1,889,968,255	1,231,745	専任・非常勤教職員の人件費支出 ※3
教育研究経費支出	509,100,000	491,665,213	17,434,787	教育研究活動に係る経費支出
管理経費支出	263,007,000	262,200,191	806,809	教育研究経費以外の経費支出 ※4
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	77,700,000	72,491,840	5,208,160	建物、構築物の取得などに係る支出 ※5
設備関係支出	83,000,000	75,674,960	7,325,040	機器備品、図書などの取得に係る支出 ※6
資産運用支出	400,000,000	643,670,000	△ 243,670,000	特定資産への繰入支出 ※7
その他の支出	48,266,062	46,409,203	1,856,859	預り金、前期末未払金、前払金など
[予備費]	(1,700,000)			
	48,300,000		48,300,000	
資金支出調整勘定	△ 138,445,096	△ 138,086,001	△ 359,095	前期末前払金や期末未払金などの調整勘定
次年度繰越支払資金	2,230,855,545	1,966,360,509	264,495,036	来年度へ繰越する現金預金
支出の部合計	5,412,983,511	5,310,354,170	102,629,341	

注記

※1: 入学金収入211百万円、授業料収入ほか2,290百万円

※2: 入学検定料65百万円、証明手数料3百万円

※3: 教職員人件費1,774百万円、退職金116百万円

※4: 学校法人白百合学園法人本部への法人負担金支出76百万円を含む

※5: 建物69百万円、構築物1百万円、建設仮勘定2百万円

※6: 教育研究用機器備品47百万円、その他の機器備品2百万円、図書27百万円

※7: 減価償却引当特定資産へ400百万円、資産引当特定資産へ244百万円

消費収支計算書

平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部				
科目	予算	決算	差異	備考(資金収支計算書と異なる点など)
学生生徒等納付金	2,500,515,900	2,501,145,900	△ 630,000	
手数料	68,000,000	67,812,370	187,630	
寄付金	24,500,000	24,547,429	△ 47,429	寄贈図書などの現物寄付が含まれる ※1
補助金	251,434,000	251,434,000	0	
国庫補助金	251,434,000	251,434,000	0	
地方公共団体補助金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
資産運用収入	168,000,000	169,528,135	△ 1,528,135	
資産売却差額	232,000	232,000	0	資産売却収入が当該資産の簿価を超過する際の超過額
事業収入	85,100,000	83,569,139	1,530,861	
雑収入	113,300,000	113,328,525	△ 28,525	※2
帰属収入合計	3,211,081,900	3,211,597,498	△ 515,598	
基本金組入額合計	△ 50,000,000	△ 35,280,169	△ 14,719,831	第1号基本金組入れ35百万円
消費収入の部合計	3,161,081,900	3,176,317,329	△ 15,235,429	
消費支出の部				
科目	予算	決算	差異	備考(資金収支計算書と異なる点など)
人件費	1,864,600,000	1,864,375,029	224,971	退職給与引当金繰入額82百万円が含まれる
教育研究経費	916,300,000	898,705,033	17,594,967	減価償却額407百万円が含まれる
管理経費	330,507,000	329,395,454	1,111,546	減価償却額67百万円が含まれる
借入金等利息	0	0	0	
資産処分差額	150,000	243,815,959	△ 243,665,959	簿価が資産売却収入を超過する際の差額、除却損など ※3
徴収不能額	0	0	0	学納金の徴収不能
[予備費]	(1,700,000)			
	48,300,000		48,300,000	
消費支出の部合計	3,159,857,000	3,336,291,475	△ 176,434,475	
当年度消費収入超過額	1,224,900	0		
当年度消費支出超過額	0	159,974,146		
前年度繰越消費支出超過額	148,989,065	148,989,065		
基本金取崩額	0	0		
翌年度繰越消費支出超過額	147,764,165	308,963,211		

注記

※1: 現物寄付金2百万円

※2: 私立大学退職金財団交付金93百万円、受託研究費1百万円、
著作権印税4百万円、その他の雑収入16百万円

※3: 引当特定資産評価差額244百万円

貸借対照表

平成24年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	21,361,447,093	21,350,390,630	11,056,463
有形固定資産	12,817,724,636	13,141,349,400	△ 323,624,764
土地	3,454,020,720	3,454,020,720	0
建物	6,911,591,892	7,182,108,770	△ 270,516,878
構築物	154,919,157	175,635,666	△ 20,716,509
教育研究用機器備品	502,574,445	544,083,361	△ 41,508,916
その他の機器備品	89,214,895	102,305,151	△ 13,090,256
図書	1,705,403,525	1,677,803,979	27,599,546
車輛	2	3	△ 1
建設仮勘定	0	5,391,750	△ 5,391,750
その他の固定資産	8,543,722,457	8,209,041,230	334,681,227
減価償却引当特定資産	7,350,000,000	6,950,000,000	400,000,000
退職給与引当特定資産	680,000,000	700,000,000	△ 20,000,000
その他の固定資産	513,722,457	559,041,230	△ 45,318,773
流動資産	2,190,857,070	2,272,120,002	△ 81,262,932
現金預金	1,966,360,509	2,011,728,111	△ 45,367,602
未収入金	84,186,900	132,956,000	△ 48,769,100
その他の流動資産	140,309,661	127,435,891	12,873,770
資産の部合計	23,552,304,163	23,622,510,632	△ 70,206,469

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	680,846,349	706,439,575	△ 25,593,226
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	680,846,349	706,439,575	△ 25,593,226
その他の固定負債	0	0	0
流動負債	1,947,810,645	1,867,729,911	80,080,734
短期借入金	0	0	0
前受金	1,659,238,500	1,703,223,500	△ 43,985,000
その他の流動負債	288,572,145	164,506,411	124,065,734
負債の部合計	2,628,656,994	2,574,169,486	54,487,508

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	21,075,610,380	21,040,330,211	35,280,169
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	157,000,000	157,000,000	0
基本金の部合計	21,232,610,380	21,197,330,211	35,280,169

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
消費支出準備金	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	308,963,211	148,989,065	159,974,146
消費収支差額の部合計	△ 308,963,211	△ 148,989,065	△ 159,974,146
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費 収支差額の部合計	23,552,304,163	23,622,510,632	△ 70,206,469

平成23年度末の財産目録

財 産 目 録

I 資産総額	23,552,304,163 円
内 基本財産	12,820,896,331 円
運用財産	10,731,407,832 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	2,628,656,994 円
III 正味財産	20,923,647,169 円

区 分	金 額
資産額	
1基本財産	
土地	55,293.46㎡ 3,454,020,720 円
建物	36,040.23㎡ 6,911,591,892 円
構築物	166点 154,919,157 円
図書	272,286冊 1,705,403,525 円
教具・校具・備品	2,964点 591,789,340 円
車輛	2台 2 円
建設仮勘定	0 円
その他	3,171,695 円
2運用財産	
現金預金	1,966,360,509 円
積立金	8,450,000,000 円
未収入金	84,186,900 円
その他	230,860,423 円
3収益事業財産	0 円
資産総額	23,552,304,163 円
負債額	
1固定負債	
長期借入金	0 円
退職給与引当金	680,846,349 円
その他	0 円
2流動負債	
短期借入金	0 円
前受金	1,659,238,500 円
その他	288,572,145 円
負債総額	2,628,656,994 円
正味財産(資産総額－負債総額)	20,923,647,169 円

2. 経年比較

(1) 資金収支計算書

(単位:円)

収入の部	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)
学生生徒等納付金収入	2,579,544,400	2,570,545,000	2,548,182,000	2,530,195,300	2,501,145,900
手数料収入	73,197,000	66,279,385	73,429,300	72,023,200	67,812,370
寄付金収入	16,032,222	15,726,846	17,676,290	20,053,200	23,048,731
補助金収入	239,861,000	215,812,000	225,169,000	364,890,000	251,434,000
資産運用収入	422,070,787	299,126,570	240,894,465	208,340,160	169,528,135
資産売却収入	0	0	100,054,000	124,740	40,000,000
事業収入	109,023,697	96,695,498	98,858,650	78,094,951	83,569,139
雑収入	116,670,128	66,461,258	107,202,891	43,630,207	113,235,808
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	1,823,302,400	1,826,294,600	1,777,196,400	1,703,223,500	1,659,238,500
その他の収入	104,583,566	230,044,402	581,195,309	57,278,906	175,923,876
資金収入調整勘定	△ 771,923,100	△ 1,872,218,400	△ 1,871,564,000	△ 3,695,362,800	△ 1,786,310,400
前年度繰越支払資金	824,641,821	1,794,140,158	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111
収入の部合計	5,537,003,921	5,308,907,317	5,925,986,480	5,463,040,012	5,310,354,170

支出の部	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)
人件費支出	1,812,868,277	1,823,174,267	1,855,619,440	1,765,872,682	1,889,968,255
教育研究経費支出	583,987,822	502,836,130	474,834,820	482,252,533	491,665,213
管理経費支出	305,071,772	308,278,790	305,441,965	285,998,966	262,200,191
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	521,729,068	475,051,386	569,800,305	323,849,987	72,491,840
設備関係支出	248,630,124	170,210,451	150,835,996	112,412,491	75,674,960
資産運用支出	300,000,000	10,000,000	0	460,000,000	643,670,000
その他の支出	48,588,899	65,093,028	301,908,904	51,852,351	46,409,203
資金支出調整勘定	△ 78,012,199	△ 73,428,910	△ 26,693,198	△ 30,927,109	△ 138,086,001
次年度繰越支払資金	1,794,140,158	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111	1,966,360,509
支出の部合計	5,537,003,921	5,308,907,317	5,925,986,480	5,463,040,012	5,310,354,170

(2) 消費収支計算書

(単位:円)

消費収入の部	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)
学生生徒等納付金	2,579,544,400	2,570,545,000	2,548,182,000	2,530,195,300	2,501,145,900
手数料	73,197,000	66,279,385	73,429,300	72,023,200	67,812,370
寄付金	16,319,399	18,419,699	22,895,962	22,351,103	24,547,429
補助金	239,861,000	215,812,000	225,169,000	364,890,000	251,434,000
資産運用収入	422,070,787	299,126,570	240,894,465	208,340,160	169,528,135
資産売却差額	0	0	134,000	0	232,000
事業収入	109,023,697	96,695,498	98,858,650	78,094,951	83,569,139
雑収入	116,670,128	66,470,031	107,413,657	43,638,740	113,328,525
帰属収入合計	3,556,686,411	3,333,348,183	3,316,977,034	3,319,533,454	3,211,597,498
基本金組入額合計	△ 201,836,705	△ 389,019,661	△ 635,872,592	△ 328,203,713	△ 35,280,169
消費収入の部合計	3,354,849,706	2,944,328,522	2,681,104,442	2,991,329,741	3,176,317,329

消費支出の部	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)
人件費	1,817,045,979	1,826,636,763	1,844,355,766	1,778,080,000	1,864,375,029
教育研究経費	1,085,195,759	987,390,690	916,202,708	890,162,365	898,705,033
管理経費	330,262,963	353,479,049	369,898,707	351,034,335	329,395,454
資産処分差額	83,910,184	36,600,276	24,828,205	14,625,958	243,815,959
徴収不能額	0	1,670,000	1,850,000	1,650,000	0
消費支出の部合計	3,316,414,885	3,205,776,778	3,157,135,386	3,035,552,658	3,336,291,475
当年度消費収支超過額	38,434,821	△ 261,448,256	△ 476,030,944	△ 44,222,917	△ 159,974,146
前年度繰越消費収支超過額	594,278,231	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越消費収支超過額	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065	△ 308,963,211

(3)貸借対照表

(単位:円)

資産の部	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)
固定資産	21,173,514,343	21,260,579,711	20,943,205,615	21,350,390,630	21,361,447,093
有形固定資産	12,910,459,924	12,993,066,355	13,189,478,322	13,141,349,400	12,817,724,636
土地	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720
建物	6,880,902,478	6,584,050,133	7,182,504,561	7,182,108,770	6,911,591,892
建設仮勘定	100,000,000	440,269,000	19,530,000	5,391,750	0
その他の有形固定資産	2,475,536,726	2,514,726,502	2,533,423,041	2,499,828,160	2,452,112,024
その他の固定資産	8,263,054,419	8,267,513,356	7,753,727,293	8,209,041,230	8,543,722,457
流動資産	1,929,755,712	2,086,615,448	2,473,112,009	2,272,120,002	2,190,857,070
現金預金	1,794,140,158	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111	1,966,360,509
その他の流動資産	135,615,554	58,923,273	178,873,761	260,391,891	224,496,561
資産の部合計	23,103,270,055	23,347,195,159	23,416,317,624	23,622,510,632	23,552,304,163
負債の部	2007年度(平19)	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)
固定負債	702,033,435	705,495,931	694,232,257	706,439,575	680,846,349
長期借入金	0	0	0	0	0
その他の固定負債	702,033,435	705,495,931	694,232,257	706,439,575	680,846,349
流動負債	1,924,289,323	2,037,180,526	1,957,725,017	1,867,729,911	1,947,810,645
短期借入金	0	0	0	0	0
その他の流動負債	1,924,289,323	2,037,180,526	1,957,725,017	1,867,729,911	1,947,810,645
負債の部合計	2,626,322,758	2,742,676,457	2,651,957,274	2,574,169,486	2,628,656,994
基本金の部					
第1号基本金	19,687,234,245	20,076,253,906	20,712,126,498	21,040,330,211	21,075,610,380
第4号基本金	157,000,000	157,000,000	157,000,000	157,000,000	157,000,000
基本金の部合計	19,844,234,245	20,233,253,906	20,869,126,498	21,197,330,211	21,232,610,380
消費収支差額の部					
翌年度繰越消費収入超過額	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065	308,963,211
消費収支差額の部合計	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065	△ 308,963,211
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	23,103,270,055	23,347,195,159	23,416,317,624	23,622,510,632	23,552,304,163

3.主な財務比率比較

(単位%)

比率名	算式	2007年度末 (平19)	2008年度末 (平20)	2009年度末 (平21)	2010年度末 (平22)	2011年度末 (平23)
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	6.75	3.82	4.81	8.55	-3.88
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	98.85	108.87	117.75	101.47	105.04
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	72.52	77.11	76.82	76.22	77.88
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	51.08	54.79	55.60	53.56	58.05
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	30.51	29.62	27.62	26.81	27.98
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	9.28	10.60	11.15	10.57	10.26
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	100.28	102.42	126.32	121.65	151.87
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金*1}}$	12.82	13.31	12.77	12.22	8.39
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金*2}}$	88.63	88.25	88.67	89.1	92.26
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100	99.86	99.98	100	98.39

*1 自己資金＝基本金+消費収支差額

*2 総資金＝負債+基本金+消費収支差額